

経営学2

科目ナンバー 0K212
総合基礎 選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

経営は、企業の資本(カネ)と労働(ヒト)による協働を円滑に成し遂げるための活動です。経営学は、この活動のあり方について考える学問であり、企業論系と経営管理論系の2つの系統から構成されます。企業論は、企業と利害関係者との関係に主たる関心があり、経営者をどのように規律づけたいのか、あるいは企業が社会と折り合いをつけながら成長するためのさまざまな事項に関連します。経営理念や倫理、経営者の役割やその条件、企業の社会における役割やその行動に対する規制などが中心となります。経営管理論は、経営者がマネジメントする組織体に関心があります。いかに戦略を立て、仕事を成員に割り当て、成員のワーク・モチベーションを喚起していくかに焦点が置かれます。経営学2では、この企業の経営活動について経営管理論で扱われる基礎的な概念を中心に、適時、映像等を用いて取り上げていきます。なお、本講義は学修目標2及び3に関する知識を修得していきます。

2. 授業の到達目標

経営学が主に研究対象とする企業は、社会全体そして私たち個々人の生活に多大なる影響を及ぼしています。また、受講生の皆さんの多くは、卒業後に営利組織(企業)ないし非営利組織(官公庁など)に就職し、組織の一員として生活を送ることになります。そのため、本講義は、私たちの日常と深い関わりを持っている企業がどのような存在で、どのような仕組みを持ち、どのように運営されているかについて、基本的な理解を身につけることを目標とします。経営学に関する幅広い概念や基礎知識を理解し習得することを通じて、企業の実際の活動内容や企業経営の現場で起きている諸問題を理解し、考える力を養成します。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(60%)、レポート(20%)、リアクションペーパー(20%)で評価します。

定期試験は持ち込み不可です。

毎授業において、授業で学んだこと、不明点、質問等をリアクションペーパーに記入してもらい、翌週に全体へフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

参考文献

上野恭裕・馬場大治編著 経営管理論 中央経済社

ステイブン・P. ロビンズ、高木晴夫訳 組織行動のマネジメント ダイアモンド社

稲葉祐之・井上達彦・鈴木竜太・山下勝 キャリアで語る経営組織論・個人の論理と組織の論理 有斐閣アルマ

5. 準備学習の内容

事前学習として、配布資料を通読し、どのような内容について学習するのかを把握してください(30分)。事後学習として、配布資料を再読し、授業のなかで示された要点を十分に理解しているかどうかを自身で確認してください(60分)。わからないことに関しては、次週のリアクションペーパーで質問をしてください。また、授業のなかで説明した概念を活かして、企業経営とはどのようなものかについて自分なりに考えてみてください(30分)。

6. その他履修上の注意事項

教科書は使用せず、毎回、LMSを利用して資料を配布します。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:経営学とはどのような学問か
- 【第2回】 経営理論の歴史(1)産業の発展と経営学
- 【第3回】 経営理論の歴史(2)科学的管理法
- 【第4回】 経営理論の歴史(3)人間関係論
- 【第5回】 組織社会化と組織文化
- 【第6回】 事例:モチベーションとリーダーシップ
- 【第7回】 モチベーション理論
- 【第8回】 リーダーシップ理論
- 【第9回】 事例:リーダーシップとチームマネジメント
- 【第10回】 組織における意思決定
- 【第11回】 集団・チームにおける意思決定
- 【第12回】 競争戦略
- 【第13回】 全社戦略
- 【第14回】 全体の見直し
- 【第15回】 テスト、まとめ